

銀河レポート401

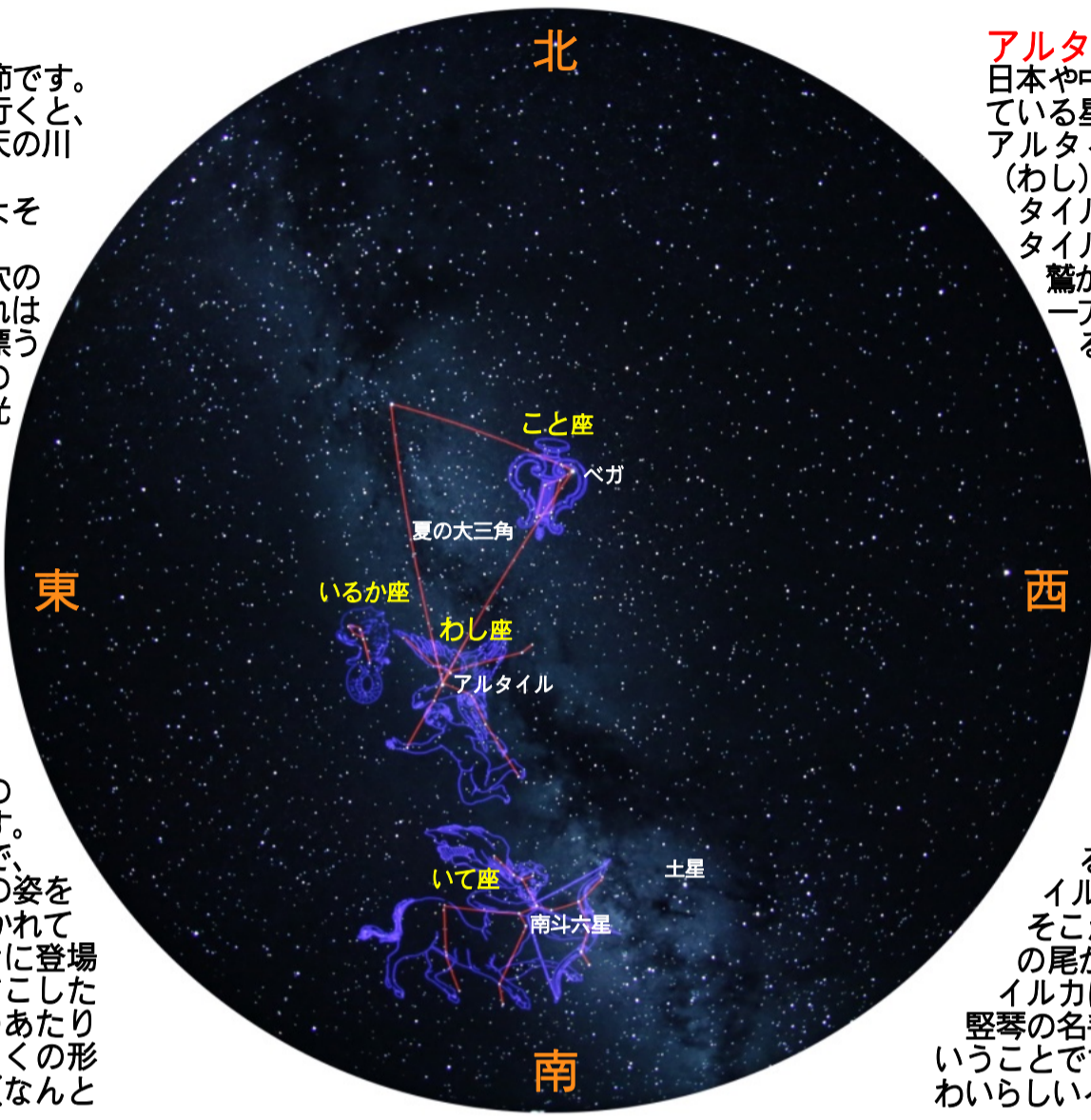
No. 27
8月号

発行日：平成29年8月1日
編集&発行：四日市市立博物館
プラネタリウム
電話：059-355-2700
HP：<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/museum.html>

8月の星空

天の川
夏は、天の川がもっとも見やすい季節です。街明かりのない、夜空の暗い場所に行くと、白っぽく雲のようにぼんやりと光る天の川を見ることができます。天の川は銀河系（天の川銀河）のおよそ2千億個の星の光が集まった姿です。天の川の中に、ところどころに黒い穴のように見える場所がありますが、それは暗黒星雲です。暗黒星雲は、宇宙に漂うガスが濃く集まっている場所で、そのガスのかたまりが、後ろにある星の光を遮っているため、そこだけ黒っぽく見えるのです。GINGA PORT 401のプラネタリウムでは、天の川を1億4千万個の星の光の集まりで表現し、暗黒星雲も再現しています。ぜひ、プラネタリウムで、天の川のリアルな奥行きを体感してみてください。

いて座
天の川が濃く明るく見える、南の空の低いところに、いて座が輝いています。「いて」とは「弓を射る人」のことで、星座では上半身が人間、下半身が馬の姿をしたケンタウロス族のケイロンが描かれています。ケイロンは、ギリシャ神話に登場する英雄たちに、様々な教育をほどこした賢人として知られています。弓矢のあたりに、暗めの星が六つ、小さなひしゃくの形に並んでいるあたりは「南斗六星（なんとろくせい）」と呼ばれています。



アルタイルとペガ
日本や中国では七夕の彦星として知られている星が、わし座のアルタイルです。アルタイルにはアラビア語で「飛ぶ鷲（わし）」という意味があります。アルタイルの両隣に見える暗めの星とアルタイルを結んだ一直線の星の並びを、鷲が翼を広げて飛ぶ姿と見たのです。一方、七夕の織姫星としても知られること座のペガは、アラビア語で「落ちる鷲」という意味があります。ペガの近くにある二つの星とペガを結ぶと、ひらがなの「へ」の字のような形になることから、翼をたたんで降りてくる鷲の姿を連想したということです。この二つの星は、昔からセットで注目されてきたんですね。

いるか座
わし座の隣に、小さいですが形のきれいな、いるか座があります。日本でもひし星と呼ばれる菱形（ひしがた）の星の並びが、イルカの胴体の部分です。そして、そこからカーブを描くように、イルカの尾があります。物語によると、このイルカは、船の上で襲われそうになった竖琴の名手アリオンの命を助けてくれたということです。ぜひ、夜空の暗い場所で、かわいらしいイルカの姿を探してみてください。

GINGA PORT401内で撮影

太陽について知ろう！

今年度第2回目の宇宙塾は、太陽がテーマです。愛知教育大学講師の政田洋平氏を招き、太陽活動とその原因、さらには太陽活動の46億年の進化とその地球気候への影響についても解説していただきます。また、日本の太陽観測衛星「ひので」による最新の観測結果も紹介します。私たちにとって身近な天体である太陽について、深く知ってみませんか？



宇宙塾「太陽の素顔～母なる太陽と地球の気候～」
日時：8月5日（土）18：30から20：00（開場18:15）
場所：プラネタリウム
定員：140席 ※当日9:30から1階総合受付で座席券を発行
料金：無料（1名様につき1席分まで）
※中学生以下は保護者同伴



愛知教育大学 講師 政田洋平氏

こども科学セミナー報告

「宇宙ってどんなところ？」
博物館では、7月29日（土）に、四日市こども科学セミナーのパート2「宇宙ってどんなところ？」を行いました。親子93人の参加があり、子どもたちは大気中の圧力を調べたり、様々な実験を通して空気のない世界について、理解を深めていました。



←真空装置にマシュマロを入れてどうなるか試している様子

8月のガリレオ教室

〈流星のひみつ〉

8月12日には3大流星群の一つ「ペルセウス座流星群」が見られます。そこで、流れ星ってどんな星？流れ星の正体は？など、流れ星について天文ボランティアが分かりやすく解説します。

日時：8月13日（日）
①11：00から11：20
②14：00から14：20
場所：コズミックラウンジ



※ 当日の自由参加 参加無料



★★観望会★★







- 《博物館主催きらら号観望会》 場所：市民公園
- ①8月5日（土） 15時30分から17時 太陽を見よう
 - ②8月26日（土） 19時から20時30分 土星と夏の三大角をさがそう
 - ③8月29日（火） 17時30分から19時 月と月面X（エックス）を見よう

《博物館主催流星群観望会》 場所：伊坂ダムサイクルパーク管理事務所付近
8月12日（土） 19時から21時 ペルセウス座流星群と夏の星空観望会

※天候不順時は中止です。
※当日の自由参加です。
※流星群の観望会では天文ボランティア主催観望会も同時開催します。
※流星群の観望会ではきらら号は出勤しません。

8月の月

- 8日  満月
- 15日  下弦
- 22日  新月
- 29日  上弦

編集後記

いよいよ夏本番ですね。博物館には、毎日、夏休み中の子どもたちがたくさん来てくれています。さて、毎年、8月のお盆の頃には、「ペルセウス座流星群」がピークを迎え、普段よりたくさんの流れ星を見ることが出来ます。今年は、8月12日の夜から13日にかけてが見頃といわれていますので、皆さん、ぜひ、見逃さないようにしましょう！